

教職をめざす学生を応援するフリーマガジン

2016  
spring  
vol. 5

# EDU PONT

エデュポン

特集

## 教員の一年

CAMPUS  
SNAP

東京編

二松學舎大学、武蔵大学

今でも覚えている  
先生の言葉は？

広島編

広島大学、広島修道大学

学生生活で一番  
ハッピーな時は？



中央大学  
理工学部1988年卒業

阿部 寛さん  
俳優

Contents

- 03 教育リレーコラム  
平野啓一郎さん  
教員も人間には違いない
- 04 特集  
教員の一年

- 08 学長が語る  
北海道教育大学学長  
蛇穴治夫さん  
実践的なカリキュラムで  
知識を統合できる教員を  
知っていますか？
- 09 データで見る教育現場  
学習に対する意識と実態  
「第5回学習基本調査」
- 10 今さらきけない教育問題  
「PTA」とは？  
明星大学教授  
樋口修資さん

- 12 教員が薦める名映画  
置かれた状況の中で  
職責を果たす気概を  
「南極物語」  
山木正博さん
- 16 学生発案企画  
ご当地学校文化 & 言葉  
あるある集
- 19 活躍する先輩たち  
三宅良一さん  
「楽しいこと」をイメージ  
しながら働いてもらいたい
- 20 キャンパススナップ  
東京編 二松学舎大・武蔵大  
今でも覚えている先生の言葉は？  
広島編 広島大・広島修道大  
学生生活で一番ハッピーな時は？
- 22 表紙のインタビュー  
阿部寛さん  
様々な体験を積み重ね  
「今」を大切に、楽しむ

「EDUPONT (エデュポン)」は、「Education (=教育)」と「Pont (=仏語で「橋」の意)」からの造語で、教育と社会、学生と教育現場をつなぐ「架け橋」となることをめざして命名されました。



教育リレー  
コラム  
vol.5

# 教員も人間には 違いない

「教育リレーコラム」五回目は、小説家として数々の作品を世に送り出してきた平野啓一郎さん。今回は、学校教育を受けてきた自身の経験と、平野さんが提唱している「分人」概念の視点から「寄稿いただきました」。



## 平野啓一郎さん

(ひらの・けいいちろう)

小説家。京都大学法学部卒。大学在学中、「日蝕」で芥川賞を受賞。主な著書に『日蝕』、『一月物語』、『葬送』、『決壊』、『ドーン』、『私とは何か』、『個人』から『分人』へ、『空白を満たしなさい』など。2016年4月、最新刊『マチネの終わりに』(毎日新聞出版)が発売。

私には、教育者としての経験がほとんどありませんが、学校教育を受けてきた者として今思うことは、教員もまた一人の人間だということです。特に自分が、小中学生の頃の教員と同じ年齢になり、また年上になってみると、彼らの人間性がよく見えてくるものです。



私の幼少期の最も悪い記憶は、体罰です。土地柄もありましたが、とにかく、当時は体罰が酷く、指導と言うより、今風の言い方をするなら、教室の「ガバナンス」のために暴力が用いられていました。

体罰にも善し悪しがあるという人がいますが、私はその考え方に断じて与しません。確かに、

よく殴っていた教員の中には、今も愛着をもって思い返す人がいます。しかし、その暴力に関しては間違っていたと言うよりは、他はありません。それは、彼らが私に与えてくれた、それ以外の遥かに豊かなものに対して、結局私に、何もないものを残しませんでした。

そもそも、「善い体罰」と「悪い体罰」とに区別があるとして、では、「善い体罰」を行っていた教員らは、「悪い体罰」を行っていた同僚の教員らを止めることが出来たでしょうか。暴力を正当化する根拠が恣意的である以上、それは不可能なのです。今も時折、部活動の指導などで、体罰がニュースになりますが、その度に、私は非常に不快になります。もちろん、大半の学校では、もうそんな馬鹿げ

た指導は行われていないと信じます。ネガティブなことを書きましたが、言いたかったことは、教員と子どもとの関係は、決して在校時だけのものではなく、子どもが人間観に長く影響を及ぼし続けるということです。教員の側も、そうでしょう。



私は、近年、「分人」という概念を提唱しています。人間には、対人関係ごとに複数の人格があり、その一つ一つを「個人」に対して「分人」と呼んでいきます。それは、決して表面的に使い分けられた仮面のようなものではなく、そのすべてが「本当の自分」です。

教員と子どもとの間にも、個々に分人的な関係があります。

私が今、当時の教員を懐かしく思い返す時、脳裏を過ぎるのは、彼らが子ども一般に対する態度ではなく、放課後や休み時間のふとした拍子に、私にだけ、私向けの分人で語りかけてきた時の姿です。そして、その時に言われた何気ない言葉の中には、非常に人間的な善いものが多い含まれています。

どんな子どもにもでも通用する汎用性の高い分人も必要でしょうが、そこから更に、個々の子どもとのコミュニケーションのためにより細分化された人格で一人一人と接することを、どうぞ、恐れなくてください。同じ言葉でも、子どもの受け止め方は、きっと違うはずです。教育も、結局は、人間同士の信頼関係が基礎となるのだと私は考えます。

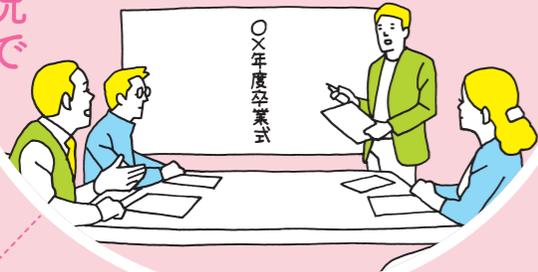


撮影協力：広島修道大学

卒業生を  
送り出せるように

最高の状況で

卒業式の準備委員会は、前年の11~12月頃に立ち上がります。教職員の中での役割分担を決め、在校生が卒業生に呼びかける「門出の言葉」の台本作りなどを分担して進めていきます。来賓の招待、体育館の使用予定確認、司会原稿の作成なども教職員の仕事です。**低高**



PICK UP 修学旅行準備の流れ **高**

10月	9月	8月	7月	6月
修学旅行	説明会	下見	行程検討 外部折衝	行き先 選定
				行き先は小学校の場合、比較的近郊の観光地に行くのが主流。プラン作り、ツアー会社やカメラマンとの契約、しおり作りなどの準備を数力月前から行います。不測の事態にも対応できるように、教員は同じ行程で下見もします。「学習」が目的のため、事前に行き先の歴史や文化を学び、修学旅行への参加がより豊かな学びにつながるようにすることも大切です。最近では、「宿泊体験学習」「宿泊研修」など呼称を変えて実施している学校もあります。

※誌面に掲載されている内容は一例です。地域や学校によって行事の時期や実施方法は異なることがあります。

特集

# 教員の一年

今回の特集は教員の1年について。「学校行事の準備はどれくらい前から始めている?」などの疑問に答えるため、特派員が実際に働いている教員の方にお伺いして、年間スケジュール例を作成してみました。

新入生の保護者向けの入学説明会など、入学者を迎え入れる準備は前年度から始まります。転居などによって、児童数が増減したりすると、4月に入ってからクラス編成をし直したりすることもあります。**低高**

安全が第一  
気が抜けない  
プールの時間

6~7月にかけて水泳指導が始まります。プール清掃や排水口の点検などだけでなく、消防署への連絡・調整、救命研修会の実施など、安全に水泳指導ができるよう関係機関と連携して準備を進めていきます。**低高**



3月末から  
慌ただしく  
新年度の準備

3月

2月

1月

12月

11月

10月

9月

8月

7月

6月

5月

4月

学年末休業期間

卒業式  
修了式



2分の1  
成人式

冬季休業期間

学芸会

修学旅行

社会科見学

地域行事への参加  
夏季休業期間

水泳指導

遠足  
運動会  
家庭訪問  
体力テスト

入学式

低学年

高学年

保護者にも  
来てもらう  
一大イベント!

近年、10歳を迎える4年生の時に、「2分の1成人式」を実施する学校もあります。特に学習指導要領で定められているわけではなく、内容は地域や学校によって様々です。**高**



すべての  
子どもたちに  
活躍の場を  
作る工夫をする

楽器の演奏、合唱、演劇などを発表したり図画・工作、家庭科などで作ったものや、社会科、理科など勉強したレポートなどを展示したりする会です。子どもの表現力を養ったり、協調性を培ったりすることが目的です。**低高**

授業のない期間は  
普段できない  
ことを!

授業はありませんが、教職員は通常通り働きます。普段できない研修や会議などのほか、最近では補習をすることもあります。地域との関係を築くため、「夏祭り」などの行事に参加する人もいます。**低高**

4月が終わっても  
一息つく間はない!?

実施時期は、秋が主流でしたが、近年では学校行事の分散化、練習中の熱中症防止などの理由によって、5月頃の開催も増えています。当日のプログラム決め、練習の計画づくりなどの他、近隣住民への告知・協力依頼、来賓の招待など外部折衝も行事を円滑に運営するために欠かせない仕事です。**低高**

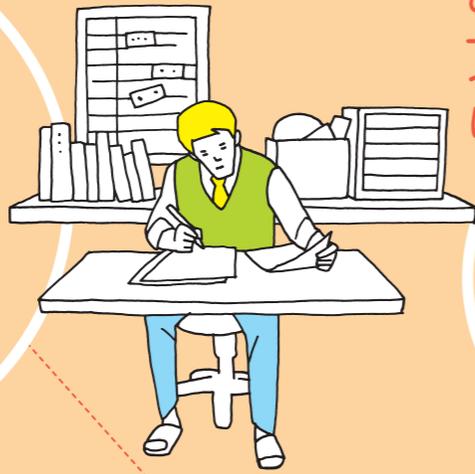
2007年より小学6年生と中学3年生を対象に実施されている調査です。学力テストの他、学校へのアンケートもあります。成績向上のため、事前に何度も過去問を解かせる、テスト中に机を指で叩いて間違いを指摘するなどの問題もありました。**高**

年度始めに集中  
調査やアンケート

# 小学校編

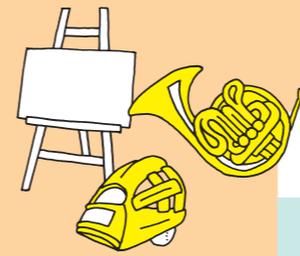
テスト結果を見て  
授業の進め方を  
練り直すことも…

定期試験は、成績評価のための重要な指標です。3学期制の場合、1,2学期に中間・期末試験が1回ずつ、3学期に学年末試験の年間5回試験があることが多いです。2学期制では、前後期それぞれ2回の計4回の場合が多いようです。試験回数は減りますが、各単元が終わるごとに単元末評価をするなど、よりきめ細やかな指導を行います。12 3



「模擬試験」も  
進路指導の  
資料の一つに

定期テストの他、民間の模擬試験を学校で実施する地域もあります。多くの学校が参加して大規模に行われる地域では、模擬試験対策の補習が組まれることもあります。3



7〜8月は  
部活動の練習試合や  
大会引率も多い

PICK UP 部活動顧問の場合 12 3

12月	11月	10月	8月	7月	6月	4月
新人戦			全国 中学校 体育大会			春季大会

部活動顧問(特に運動部)をしている場合、年に数回ある公式大会へ向けて指導をしていきます。日本中学校体育連盟(中体連)に加盟している競技では、8月頃に開催される全国中学校体育大会(全中・中学校総体)に出場し、勝ち上がることをめざして、7月下旬から8月上旬に実施される地区大会、ブロック大会に臨むことが多いです。平日だけでなく、日常的に休日にも出勤して指導している部活動顧問もあり、課題となっています。

小・中学校の家庭訪問は、新年度が始まって少し経った4月中旬から5月に実施されることが多いです。子どもの学校での様子を伝えたり、保護者から家庭での様子を聞いたりします。近年は中学校の統廃合が進み、遠距離通学のケースも増えており、緊急時に備えて子どもたちの自宅の場所を把握しておく重要性も高まっています。12 3



3月  
修了式  
卒業式  
学年末休業期間

2月  
学年末試験  
高校入試



1月  
冬季休業期間



12月  
期末試験

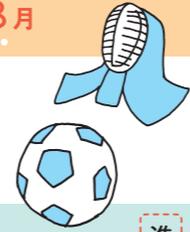
11月  
文化祭

10月  
中間試験

秋季休業期間

9月  
模擬試験

8月  
夏季休業期間  
生徒指導・部活動



7月  
期末試験  
進路指導

6月  
修学旅行

5月  
中間試験

4月  
家庭訪問  
運動会

入学式

始業式

1・2年生  
3年生

これまでの指導が  
生徒の進路結果に  
なって表れる!

3年生の担当教員は、高校入試が終わる2月末頃まで、進路指導や入試に向けた指導に追われます。受け持ちの生徒全員の進路が決まるまで気が抜けません。3

合格者発表

学年やクラス単位でステージ発表をしたり、美術の時間に制作した作品の展示をしたりするなど、普段の学習の成果を発表する機会です。文化祭実行委員の生徒を中心に、担任や担当者が協力して企画していきます。特に担任は、クラス内の議論を上手にとりまとめ、個々の企画がしっかりと進むようにフォローする必要があります。12 3

学校行事は  
クラスの団結を  
高めるチャンス

2学期制で  
10月にも  
休業期間が!?

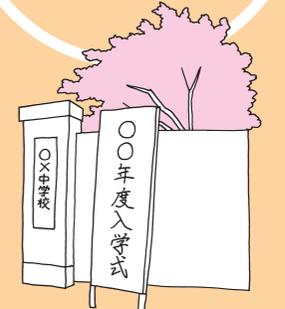
2学期制の場合、10月に前後期が分かれます。前期終了から後期開始の間に、数日間休業期間を挟む学校もあります。12 3



生徒や保護者の  
希望を聞き、適切な情報を

中学3年生を担当している場合、6月頃から三者面談などを通じた進路指導が始まります。本人の希望、定期テストや模試の成績、家庭の事情など踏まえながら、生徒や保護者へ進学先や奨学金の情報提供、助言などを行います。3

前年度に、学区の小中学校からの入学予定の児童についての申し送りを受け、その上でクラス編制などを行います。12 3



引き継ぎを元に  
新入生を迎え入れる準備を

# 中学校編

小・中・高校生対象に調査

# 学習に対する意識と実態 「第5回学習基本調査」

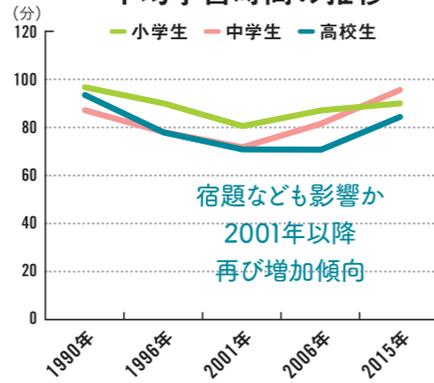
出典：ベネッセ教育総合研究所「第5回学習基本調査」  
調査方法：全国3地域の小学5年生2,601人、中学2年生2,699人、  
および全国4地域の普通科高校2年生4,426人を対象に質問紙調査

**2** 015年6月から7月に  
かけて、ベネッセ教育総  
合研究所が、全国各地の  
小学生、中学生、高校生を対象に、  
学習に関する意識と実態を探る「第  
5回学習基本調査」を実施した。「第  
3回調査の01年以降、平日の学  
校外における子どもの平均学習時間  
は増加傾向にあり、15年は小学生で  
95・8分、中学生で90分、高校生で  
84・4分だった(グラフ1)。  
「できるだけいい高校や大学に入れ  
るよう、成績を上げたい」と考える  
子どもの割合は増加しており(グラ  
フ2)、「いい大学を卒業すると将来

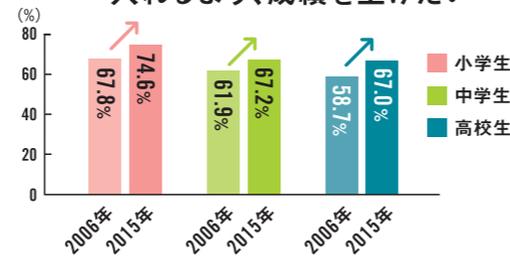
## 学習量、学びの質ともに変化 能動的に学べる環境づくりを

「自分で興味を持ったことを、学校  
の勉強に関係なく調べる」という子  
どもは前回の06年調査から大幅に増  
加し(グラフ4・5)、考えたり調べ  
たりしたことを工夫して発表するよ  
うな授業にも意欲的だ(グラフ6)。  
子どもたちが能動的に学ぶための  
「アクティブラーニング」へのとり  
くみが求められていることが分かる  
結果となった。

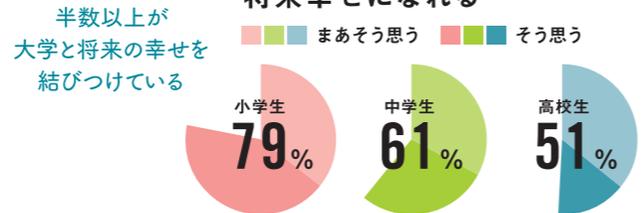
グラフ1 平日の学校外での  
平均学習時間の推移



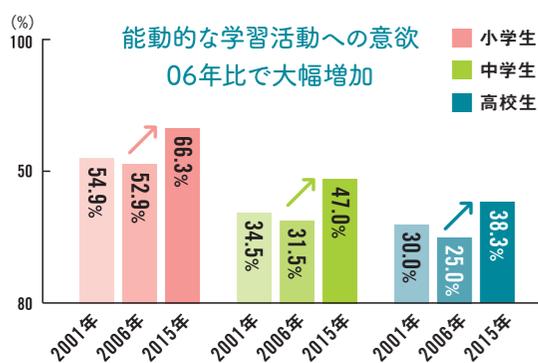
グラフ2 できるだけいい高校や大学に  
入れるよう、成績を上げたい



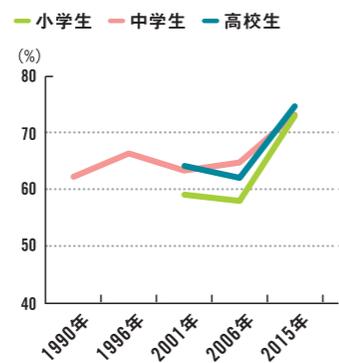
グラフ3 いい大学を卒業すると  
将来幸せになれる



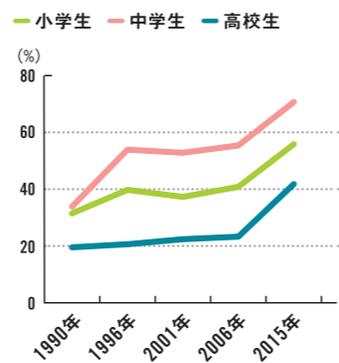
グラフ6 考えたり調べたりしたことを  
工夫して発表する授業が好き



グラフ5 自分で興味を持ったことを、  
学校の勉強に関係なく調べる



グラフ4 授業で習ったことを、  
家でもっと詳しく調べる



**北** 海道教育大学では、より実践的なカリ  
キュラムを構築するため、「教育フィ  
ールド研究」や「学校臨床研究」とい  
った独自開発の授業を取り入れています。

1、2年時に実施する「教育フィールド研究」は、「子どもを理解する」ということを一番の目的としています。例えば、子どもが公民館で遊んでいたりと、課外活動で博物館を訪れたりする場面に学生を派遣して活動を支援します。そうすることで、学校の内外で異なる子どもの様子が体験的に理解できます。また、自然体の子どもたちと触れ合うことで、教員に必要な教育的な愛情を醸成することにも繋がります。

これからの時代に求められるのは、様々な知識をもとに「思考させ、判断させ」て、「わかりやすく表現する力」を育める「アクティブラーニングを実践できる教員」だと考えます。「学校臨床研究」は、アクティブラーニングの手法を用いた新たなとりくみです。学校と大学の教室を双方向遠隔授業システムで繋ぐことで、事前に指導案や教材を確認したうえで、授業参観をしたり、授業を担当した教員とディスカッションしたりできます。北海道の小中学校の40%弱がへき地・小規模校だと言われますが、システムで繋ぐ学校を変えるだけで、大学にしながら遠方の学校の授業風景を観ることも可能となるのです。

現在、社会で生じている問題は、学校で学ぶ単一教科の知識だけでは解決できない、複合化したもの、さらにはグローバル化したものばかりです。環境問題でいえば、「PM2.5」などの有害物質がどのように発生し、どんな影響を及ぼすか。風に乗って国境を越える「PM2.5」問題を、多国間どのように解決していくのか。教科にすれば、理科や社会科で学ぶ知識を複合化させて考えていく必要があるのです。

本学のカリキュラムが、個別の知識を統合し、「社会に出たら、こんなことに役立つんだよ」としっかり子どもに教示できるような、実践的な力を身につけた教員の養成に繋がればと思います。



学長が語る  
vol.5  
北海道教育大学編

## 実践的なカリキュラムで 知識を統合できる教員を

北海道教育大学長  
蛇穴治夫さん

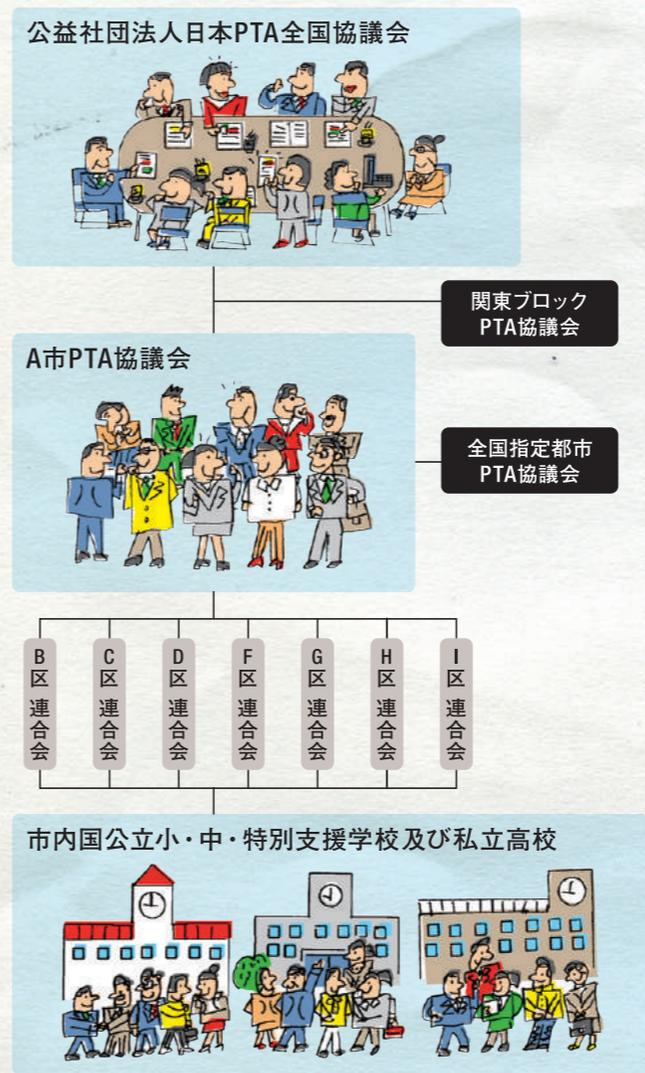
実践的なカリキュラムを構築するため、  
独自開発の授業を取り入れている北海道教育大学。  
その目的や具体的な授業内容について、  
蛇穴治夫学長に語っていただきました。



### Profile

1956年青森県生まれ。北海道教育大学長。北海道大学理学部生物学科卒業後、86年同大学大学院理学研究科博士後期課程修了。84年に北海道教育大学旭川分校で教員として採用され、助教授を経て2005年に教育学部教授に就任。07年8月から同大学理事、15年10月より現職。

### PTA組織図の例 (関東の政令市・A市の場合)



#### 「PTA」って どんな組織なの？

日本でのPTA誕生は、第二次世界大戦後のこと。1946年、教育の民主的革新のために来日していたアメリカ教育使節団がアメリカのPTAを紹介し、日本での結成が勧奨されました。これを受け、47年に文部省が、「父母と先生の会」教育民主化のために」という冊子を作成、各都道府県知事宛てに配布し、奨励したことから普及しました。「PTA」という組織名は、Parents (親)・Teacher (教員)・Association (団体) の頭文字

をとったもの。その名の通り、保護者と教職員が協力し、子どもの健全育成と教育の振興を図ることを目的としています。

#### 日本とアメリカのPTAの違いは？

アメリカでは、地域単位で組織され、保護者や教職員の他、地域住民も加入しています。活動範囲は子どもの通う学校に留まらず、世界の子どもたちの環境改善をめざす一種の教育運動です。一方日本では、保護者と教職員とが学校単位で組織しています。戦後、教育財政が窮乏するなか、学校支援が緊急の課題と

ならざるを得なかったことなどから、個別の学校問題を離れた社会教育団体としての活動は定着しませんでした。

#### 具体的にはどんな活動をしているの？

大きく五つに分けられます。一つ目は、「学校教育の理解・振興のための活動」です。「授業参観」や「懇談会」に積極的に参加し、学校の教育目標や指導内容を十分に理解することはとても重要です。他にも、「学校環境美化運動」、「学校行事支援活動」といったものも含まれます。

二つ目は、「家庭教育の理解・振興のための活動」です。人間形成の基礎を培ったり、子どもの価値観や生活文化を形成したりする場として、家庭教育力の向上を図ろうというものです。PTA主催の「家庭教育学級」はこれにあたり、子どもの発達とは何か、家庭でどのように教育すべきかを話し合います。三つ目は、「校外の生活指導のための活動」です。PTAが校外の生活指導に協力し、子どもの健全な成長を図っていくというものです。具体的には、「通学路の安全確保」や「登下校時の見守り」などが挙げられます。四つ目は、「地域の教育環境の改善・充実のための活動」です。「好ましくない施設や出版物への対処」や「交通安全施設や通学路の設置」、「地域行事の運営」など、学校内だけでなく、地域の教育環境の改善に協力していくというものです。五つ目は、「成人教育としての活動」です。PTAは、ボーイスカウトや子ども会といった青少年関係団体などと同様に、「社会教育関係団体」に位置づけられます。そのため、保護者と教職員が親睦を深めたり、保

護者自身の生涯学習の場となったりという側面も持っています。「人権学習会」や「音楽会」、「スポーツレクリエーション活動」など、地域によって様々です。

#### 教職員はPTAにどう関わるの？

教職員は校務分掌でPTAなどの渉外関係を担当することが多いようです。ただ、教職員は校務分掌としての位置づけとしてではなく、保護者と同様に自発的・主体的にボランティアとして、活動に携わっていくことが、本来の趣旨からも望ましいでしょう。その際、保護者と教職員は、対等な関係であること忘れてはいけません。互いに立場を理解し合えるよう、話し合える場を多く持ち、信頼関係を築き上げていくことが大切です。

#### PTAへの加入は任意って本当？

加入や退会は任意が原則ですが、実際は子どもの入学及び卒業に伴い、自動的に加入し退会することとなっています。71年の文部省の行政実例回答でも、「会員の資格については、本来それぞれのPTAが自主的

に決定するべき」としつつ、「会の趣旨に賛同する親と教師が自主的にできるだけ多く参加することが望ましい」とされました。近年、共働き家庭やひとり親家庭が増大し、PTAへの加入と活動協力を疑問を感じる意見があるのは事実です。地域によっては、入学時に保護者から書面で同意を得る試みもなされていますが、必ずしも多くはありません。きちんと同意を得てPTAに入会していただくことで、会員の自覚と自発性を促し、「やらされ感」を払拭することにもつながるのではないのでしょうか。

#### PTA活動の今後の展望は？

子どもを育てる責任の第一義は保護者にあるわけですから、PTAには原則、全員加入すべきです。ただ、活動への全員参加にこだわる必要はないでしょう。ボランティアとしてとりくむことができる人を中心に、役員にだけ負担過重とならないような活動のあり方を模索する必要があります。その意味で、これからは「応益的負担」よりも「応能的負担」の考えに立った活動が必要ではないでしょうか。

今さらきけない！教育問題 ⑤

## 「PTA」とは？

「頻繁に耳にするけど実はよくわからない」  
そんな教育問題をわかりやすく解説。  
今回は、「PTA」を取り上げます。



イラスト：ワタナベケンイチ

最近では「Community」の頭文字を加え、「PTCA」なるものを組織する動きもあります。「通学路の安全確保」や「登下校時の見守り」といった、地域住民の協力なしでは難しい活動が増えているとの理由からです。形態は様々で、地域住民のボランティア組織などと連携するものもあれば、PTAから拡大し、学校単位のPTCA組織にするもの、さらには複数学校間で組織した例もあります。教育基本法14条は、「家庭、地域、学校の相互の連携協力」の重要性を説いています。地域住民を巻き込んだ学校への教育支援活動は、PTA活動とも補完し合いながら、今後の新しい教育運動となる可能性を秘めています。

**樋口修資** ひぐちのぶもと  
明星大学教育学部教授。1976年に文部省(現文部科学省)入省、大臣官房審議官、スポーツ・青少年局長などを歴任。2011年から東京2020オリンピック・パラリンピック招致委員会事務局長を務めた。